

令和3年度 入域料特別会計決算報告について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	予算額	収入額	増減	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	72,000	72,000	0	市負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	3,500,000	4,223,199	723,199	入域料
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	3,379,291	3,379,291	0	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	100,709	34,830	△65,879	携帯トイレ売上、預金利息等
合計			7,052,000	7,709,320	657,320	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	予算額	支出額	増減	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	120,000	118,237	△1,763	委員謝金、費用弁償
	2 事務費	2 事務費	150,000	768	△149,232	消耗品等
	3 広告費	3 広告費	200,000	112,035	△87,965	告知チラシ
2 事業費	1 事業費	1 事業費	4,606,000	4,035,589	△570,411	ライチョウ保護対策事業 1,430,825
						登山道整備事業 1,283,700
						収受員賃金 363,168
						燕管理費 54,258
						新赤倉管理費 0
						協力者記念品 897,556
						携帯トイレ購入費 0
						事前決済手数料 6,082
2 繰越事業費	1 繰越事業費	1,900,000	3,442,691	1,542,691		
3 予備費	1 予備費	1 予備費	76,000	0	△76,000	
合計			7,052,000	7,709,320	657,320	

【歳入の部】

- ・協力金（入域料）について、登山客の増や収受率の増により当初見込みを超えることができた。

【歳出の部】

- ・運営費では、入域料告知チラシをゼロカーボンの観点から紙媒体での配布を減らしたことや消耗品の購入を見送るなど執行の抑制を図ったため、支出済額が予算額に比べ238,960円の減額となった。
- ・事業費については、実施方法の見直しや購入の見送りを行ったため、支出済額が予算額に比べ570,411円の減額となった。